



鹿島小だより

中能登町立鹿島小学校
令和6年12月10日(火)
No. 17

学校ホームページ 中能登町立鹿島小学校

学校メールアドレス kashima_es@school.town.nakanoto.ishikawa.jp

TEL 76-1100

FAX 76-1088

文責：清水ひとみ

めざす児童像：自ら学びよく考える子(全力)

心豊かで思いやりのある子(協力)

ねばり強くたくましい子(持続力)

自ら考え正しい価値に向かう子(自浄力)

5年 PTCA 11月27日(水)

親子で「繊維スポーツ」

町スポーツ推進委員と石川バリアフリーボランティアスタッフの方が講師となり、親子で「繊維スポーツ」を楽しみました。「繊維スポーツ」とは、「織物の町なかのと」の織物を活かした、誰もが簡単にでき、みんなが一緒に楽しめるスポーツです。今回は、「ボッチャ」という競技を応用した「みんなで手前味噌」、ばらばらにちらばった靴下の中から同じがらの靴下をたたくでカゴに入れる「くつしたまいれ」、バレーボールのような「なかのと巾ボール」の3種類をしました。あちこちから歓声があがり、笑顔が広がり、親子でよい汗をかくことができました。お世話・ご準備いただいたたくさんの皆様、ありがとうございました。



人権集会 ～ 代表委員会より ～

人権週間(12月4日～10日)の4日(水)、人権集会が行われました。代表委員会のみなさんが、プレゼンを通して、「人権とは、人間が人間らしく、自分らしく生きる権利で生まれながらに持っている権利。命を大切にすること、みんなと仲良くすること」と、呼びかけました。鹿島っ子は、「人権が守られないと誰かが苦しむことにつながる」と等々学びました。周りの人の気持ちを考えたり、人によって感じ方が異なることを踏まえたりして、行動したいものです。



いじめアンケートをもとに、 子ども達の声をしっかり受け止めて

11月に実施したアンケートにおいて、「今いじめられている」と回答した児童は前期(7月)よりやや減少したものの、8.9%でした。アンケート後、担任を中心に、一人一人にしっかり話を聞き、個に応じた対応、支援・指導を行いました。今後も継続して、一人一人の子どもの立場になり親身になって支援・指導を行っていきます。各ご家庭におかれましても、子どもと話し合う場を持つ等、ご協力のほど、よろしく願いいたします。

「今いじめられている」と 回答した児童の主訴

悪口を言われた

からかわれた

嫌なことをされた
(ぶつかるなど)

暴言を言われた

仲間はずれにされた

嫌なことを言われた
(「遅い」など)

なわとび練習開始 ～ 挑戦！そして協力！～

12月から長休みや体育の時間に、全校でなわとびに取り組んでいます。一人一人が「なわとびカード」を持ち、友達と励まし合いながら、それぞれの目標に向かって頑張っています。校長・教頭からの賞状シールもあります。1月には「校内なわとび大会」も計画されています。レベルアップを目指しましょう。



うれしいお知らせが次々と！～おめでとうございます～

【第35回 MOA 七尾・中能登児童作品展】

＜絵画の部＞

○中能登町長賞 4年 廣瀬 杏樹 ○中能登町教育長賞 4年 多田 花菜
○中能登町議会議長賞 1年 多田 率花 ○金賞 5年 千徳 菜月
○入選 5年 山田 莉心 6年 久木 菜幌・宮森 勇丞

＜書写の部＞

○中能登町PTA連合会賞 2年 室木 恵太 ○金賞 5年 千徳 菜月
○入選 6年 長田 夢空

【防火ポスター審査会】

○防火協会長賞 1年 山田 巧真 ○金賞 3年 松田 陸玖 6年 久木 菜幌
○銀賞 1年 卜部 福楽 4年 袋井 茉奈 5年 山田 知歩
○銅賞 2年 長田 照輝・池田 藍斗 5年 水口 亜優 6年 小山 杏奈・北野 瑞己

震災1年後の児童生徒の心のケアについて

令和6年能登半島地震から1年がたとうとしています。この時期に起こりうる「アニバーサリー反応」について理解し、備えるために教職員の校内研修を行いました。また、子ども達も、低学年・高学年に分かれ、スクールカウンセラーの高田先生からお話を聴きました。

○『アニバーサリー反応』とは？

ある出来事から1ヵ月、半年、1年、2年といった節目の時期に、一度おさまっていた心身の反応がぶり返すことを『アニバーサリー反応』という

- ・おせちのちらし、冬支度、降雪などの季節感、報道の特集等がきっかけとなることがある
- ・時間経過に伴い、被災による恐怖、喪失、生活変化等のストレスなどと複雑にかみ絡みあい、原因が分かりにくい不調としてあらわれることがある
- ・数年たってからでも強い反応が出る場合もある（遅延性の反応）
- ・回復のペースや経過には個人差があるため長期的な見守りが大切

○どのような反応があるのか？

- ・緊張する、不安になる ・思い出してつらい、ときどきする ・眠れない ・怖い夢をみる
- ・怒りっぽくなる、いらいらする ・落ち着きがない、そわそわする ・ぼんやりしていることが多い
- ・普段よりよくしゃべる ・思い出したくないのに思い出す ・ある特定の場所をさける など…

※これらすべてをアニバーサリー反応に結び付けて考える必要はないが、何らかのストレスがかかっている可能性があり、注意して観察する必要がある。

○『アニバーサリー反応』に備えて

1 おこりうる反応について知っておく

「思い出してときどきするなどの反応が起こるかもしれない」
⇒事前に分かることで怖さが軽減し、対処しやすくなる

2 誰にでも起こりうることを伝える

「災害等を経験した誰にでも（児童生徒、保護者、教職員等）起こりうるあたりまえのことである」
⇒起きたときには、冷静に対処法を試みる

3 対処法があることを伝え、一緒に考える

- ・リラクゼーション法 ・誰かに話を聞いてもらう ・肯定的になれるような声掛け
- ・好きなことに取り組む ・過剰な情報（映像、動画、写真等）を抑える など…